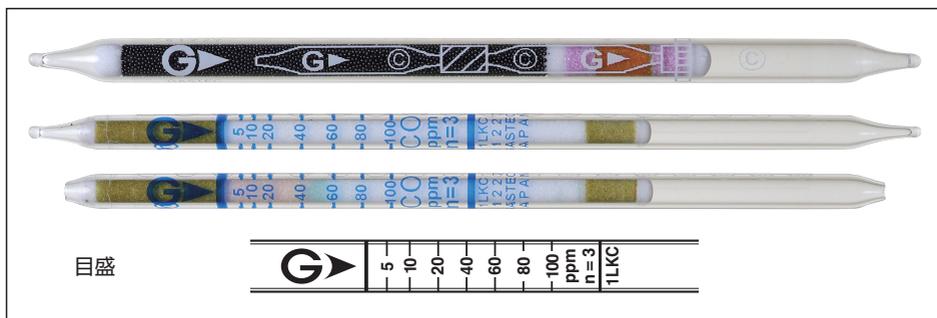


一酸化炭素 CO

No.1LKC

Carbon monoxide



仕様

水素・炭化水素中の一酸化炭素濃度を測定可能。
水素・炭化水素の影響を低減します。

測定範囲	5 ~ 100 ppm
吸引回数	3回(基準) (300mL)
係数	1
測定所要時間	6分

検知限度： 2 ppm (3回吸引)
変色： 白色 → 淡褐色 (先端は淡緑色)
温・湿度補正： なし
有効期間： 36 か月
変動係数：



CV=5%
目盛範囲

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

一酸化炭素により五酸化ヨウ素が還元され、ヨウ素を遊離して淡褐色を呈する。
 $5\text{CO} + \text{I}_2\text{O}_5 + \text{H}_2\text{S}_2\text{O}_7 \rightarrow \text{I}_2(\text{淡褐色})$

干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
水素	10%未満	-15%	変色しない
C ₆ 以下のパラフィン系炭化水素 (0% RHの場合)	15%以下	影響しない	15%を超えると淡褐色に変色
エチレン (0% RHの場合)	2%以下	影響しない	3%以上で淡褐色に変色
プロピレン (0% RHの場合)	15%以下	影響しない	15%を超えると淡褐色に変色
アセチレン (0% RHの場合)	200ppm以下	影響しない	250ppm以上で淡褐色に変色
二酸化炭素、窒素酸化物		影響しない	変色しない
硫化水素		影響しない	変色しない

C₆以下のパラフィン系炭化水素、エチレン、プロピレン、アセチレン等の炭化水素は湿度の上昇と共に表に記載されている濃度以下でも干渉を受ける。

校正用ガス

高圧ガス容器詰法